



コミュニティソーシャルワーカー

CSW 通信

2025年
5月号

豊島区医師会圏域

—CSW(コミュニティソーシャルワーカー)とは— 福祉に限らず暮らしのこと全てのご相談に対して、※豊島区より受託
一人ひとりの生活や思いに寄り添いながら、地域のみなさんや関係機関・団体等と協力して解決に向けたお手伝いをしています。

2025.3.11@IKE・Biz多目的ホール

CSW×ボランティアセンター講演会

開催しました

災害につよいまちづくり ～ 共助の力と平時の取り組み～



01 被災地の現在

豊島区民社会福祉協議会 大竹 宏和

地震など自然災害が発生したら、みなさんはどうするでしょうか。救援センターに避難する人、自宅に留まる人、車などで寝泊まりする人。いずれにしても、日常とは違う生活を余儀なくされます。被災したあと、どんなことが起こるのか。

日頃からできることはあるのか。みなさんに考えていただくために、能登半島地震の「いま」をお話ししました。

02 人のネットワークは最強のライフライン

東京ボランティア・市民活動センター
間瀬 達成さん

「被災地支援」「災害ボランティア」というワードから、どんなイメージが思い浮かびますか？という問いから、能登半島地震の被災地で交流・支え合いの場づくりを行うボランティア「能登半島地震被災者支援ボランティアパッケージ」をご紹介します。

この「ふれあい喫茶」が被災者の声をキャッチしたり、個人や地元の団体、さまざまな支援プログラムなどがつながるきっかけになったことから、災害時にも、人のネットワークが大切であることをお話ししました。



03 発災に備えて平時からできることって どんなことがあるでしょう？

講演内容を受けて考えたこと、感じたこと、やりたいと思ったことなどを、参加者でグループをつくり、話し合っていました。

被災地での
人々関係性が
心のよりどころに
なることを感じた

同じ志を持つ
近所の人と
出会いたい

サロンを開設したい
話しかけ方や
運営方法の事など
学びたい

中学生や高校生
などとも
平時から繋がって
いきたい

災害ボランティアの役割に
ついて意識が変わった

人間同士の関係を作るのが
難しい環境になっている
今後の課題

街歩きいいですね

見守り活動も
みんなが住んでいるか
身体が不自由か
知っておくことが大切

暮らしのなんでも相談会

5/16(金)

15:00~16:00

@区民ひろば西池袋
(西池袋2-37-4
IKE・Biz2階)

5/12(月)

14:00~15:00

ラルゴdeよりみち
@レンタルスペースラルゴ
(西池袋4-9-12 1階)

5/21(水)

14:30~15:30

目白deよりみち
@ギャラリー赤い鳥
(目白3-18-7)

○日時と場所をご確認ください。

○CSWがお話を伺い、関係機関や地域情報などをご紹介します。お気軽にお越しください。

○上記日程でご都合がつかない場合でも、相談は受け付けております。

○電話相談や訪問も行っておりますので、ご連絡ください。



グループホーム「いけばくろの家」の職員の方に 自宅でできるお口の体操を教えてくださいました！

豊島区内の社会福祉法人が、連携して「福祉なんでも相談窓口」という無料相談事業を行っています。

豊島区医師会圏域では、「グループホームいけばくろの家」がその一つになっています。

CSWが施設を訪問し、職員の方に、地域の皆さんが自宅で実践できる体操を教えてくださいました。

活動の様子



くぼた職員さんからのアドバイス！

施設では、お食事の時間の前にお口の体操をしています。食事の前に、今から食事を摂ることをはっきり認識することが、誤嚥の予防につながります。右図のような体操をすることが難しい場合でも、目の前にある料理のメニューを口ずさむことも、食事に意識を向けるためおすすめです。無理なく予防していきましょう。

自宅でできるお口の体操



①
あめ玉を転がすように
舌を回します



②
舌を出して
上下に動かします

社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会
CSW 豊島区医師会圏域担当 白岩・山下
(区民ひろば西池袋内)

開所時間 月~金 9:00~17:00(祝日・年末年始除く)

TEL:03-6866-2950

メールアドレス: csw_nishiike@t.toshima.ne.jp

メールアドレス
読み取りコード



豊島区民社協
SNSやっています！

